



平成30年3月期 第3四半期決算短信(IFRS)(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 そーせいグループ株式会社

上場取引所

東

コード番号 4565 URL <http://www.sosei.com/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長(兼取締役)CEO (氏名) ピーター・ベインズ

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部 マネージャー (氏名) 伴瀬 晴美

TEL 03-5210-3290

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,277	63.3	94		1,899		1,713		1,713		692	88.9
29年3月期第3四半期	17,118	121.1	12,633	346.6	13,281	522.4	10,048	380.6	10,206	370.9	6,241	186.4

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
30年3月期第3四半期	99.49		99.49	
29年3月期第3四半期	604.44		602.12	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
30年3月期第3四半期	73,949		50,653		50,649		68.5	
29年3月期	48,087		28,359		28,354		59.0	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭		円 銭		円 銭	
29年3月期		0.00		0.00	0.00	0.00
30年3月期		0.00				
30年3月期(予想)				0.00		0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

当社グループにおける現在の売上収益は、提携契約によるマイルストーン収益に依存しております。これらのマイルストーンは、提携先の開発戦略及び開発スケジュールに影響されるため、当社グループがマイルストーンを受領する時期を予想することは困難であり、また、会計年度ごとの売上収益額に大きな変動が生じる可能性があります。2016年4月に受領したAllergan社との大型契約に基づく契約一時金は例外的な金額であったため、平成30年3月期においては対前連結会計年度比において売上収益の大幅減を見込んでいます。

短期的及び中期的には、StaR技術から見出した高い価値が期待される新薬候補から成る自社独自のパイプラインを生み出すという当社の成長戦略に基づき、研究開発への投資の増額を見込んでいます。当社は2年間で自社創製の6つの化合物を臨床入りさせる予定です。当社のビジネスモデルは成長戦略に基づき進展させ、希少疾患や特殊疾患をはじめとする厳選された適応並びに米国・英国・日本といった特定の市場に応じて、製品の自社販売、あるいは他社とのコプロモーションによる販売等を一層強化していく方針です。短期的には呼吸器系疾患の治療薬の増加し続けている売上に応じたロイヤリティ収入同様、既存の提携契約に基づく開発マイルストーンを継続して受領することができると考えています。中長期的には、最適な経営資源の投下戦略のもと、自社販売製品あるいは他社とのコプロモーションから得られる売上に、提携契約に基づいたロイヤリティ収入、契約一時金、開発の進捗や販売額に応じたマイルストーン収入を加えた、バランスの取れた売上収益につながると期待しています。

平成30年3月期においては、Allegan社からの125百万米ドルの契約一時金を計上した平成29年3月期と同規模の売上収益を再び計上できるとは見込んでおりません。さらに、レビー小体型認知症(DLB)を対象とした日本におけるHTL0018318の臨床試験開始に向けた準備を含め、自社独自のパイプラインの拡大に向けた投資も継続して増加しています。少額ではありますがマイルストーン受領時期に関して当初の予測を見直したことに伴い、平成30年3月期上半期の決算説明会にて発表いたしました売上収益に関する見通しを若干修正しました。また、現金費用は微増します。このことから、当平成30年3月期の(売上収益から現金費用を除く)現金収入は、ブレイク・イーブンから7百万米ドルの損失の範囲の額となる見込みです。

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	19,054,984 株	29年3月期	16,916,184 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	26 株	29年3月期	株
----------	------	--------	---

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	17,219,144 株	29年3月期3Q	16,886,384 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。